

防災協だより (126号)

【発行所】(公社) 神奈川県高圧ガス防災協議会
横浜市中区北仲通4-40 (商工中金横浜ビル3階) 電話045-212-1454
【編集責任者】企画部会長 東山 泰三
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

第6回 通常総会が開催される (通算第45回)

通常総会は、公益法人移行後第6回を数え、神奈川県をはじめ神奈川県警察本部、神奈川県消防長会長、横浜市・相模原市消防局関係、県内高圧ガス保安団体関係等、数多くのご来賓に出席いただき、5月17日(木) ホテルモントレ横浜ビクトリアにおいて開催されました。

本年度は、役員改選期であり、議事は、「平成29年度

事業報告及び収支決算報告」、「任期満了に伴う役員改選」等について審議され、16時に総会は閉会しました。

休憩を挟み、退任理事・監事への感謝状並びに優良運送員の表彰式を行い、ご来賓お二方のご挨拶を頂いた後、散会しました。

公益社団法人 神奈川県高圧ガス防災協議会 第6回 通常総会

会長あいさつ

布施 重男



神奈川県高圧ガス防災協議会の布施でございます。

本日、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の第6回通常総会に、会員の皆様には、大変お忙しいところご出席を戴き誠にありがとうございます。また、ご来賓として神奈川県くらし安全防災局工業保安課、穂積課長をはじめ地域県政また県警察本部や消防局、そして関係保安団体の方々には、公務ご多忙中にもかかわらずご臨席を賜り誠に恐縮でございます。

皆様方には、常日頃より当高圧ガス防災協議会の事業活動に多大なるご指導と、またご支援ご協力を賜り、誠に有難く感謝申し上げます。高い席からではございますが、この場を借りて改めて御礼を申し上げます。

お陰様で、当高圧ガス防災協議会は昭和47年に設立以来今年で46年、途中平成25年に公益社団法人に移行し、早6回目の通常総会を迎えることが出来ました。46年という長い歴史の中で『公共の安全の確保』特に高圧ガスの移動途上における事故・災害の発生防止と拡大防止に努めて今日に至っております。

さて、県下におきましても本年4月から高圧ガス保安法における事務・権限がコンビナート等一部を除き政令指定都市に移管されました。これに伴い、県の指針でありました神奈川県高圧ガス運送基準は、当神奈川県高圧ガス防災協議会の運送基準として施行され引き継いでおります。

また、県と政令指定都市と窓口が複数となりますが、ご担当部署からのご指導を戴きながら、情報交換

等より連携を密にして、安全を担保するべく円滑な事業推進に努めてまいりたいと存じます。

昨年の事業を振り返ってみますと、「防災事業所の防災体制の整備」として平成26年のアンケート調査から始まった実態調査の結果を踏まえ、10月から新防災事業所体制へと移行させて戴きました。準防災事業所は廃止させて戴き『応援・助言』と『助言』のみの2区分とし、全県エリアを対象とさせて戴いております。防災事業所の方々には、大変お手数をお掛け致しますが、より一層のお力添えを戴きますようお願い申し上げます。

また、高圧ガス事故に係わる防災訓練として「神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練」を10月18日に横浜みなとみらい耐震バースにて開催致しました。お天気にも恵まれ参加者152名、見学者を含め450名あまりのご参加をいただき盛大に挙行されました。地震防災意識を高め関係機関との連携体制の充実、被害の拡大防止を目的とし、大変有意義な訓練であったと思っております。

訓練参加者をはじめ関係各署・各位には、改めて御礼を申し上げますと同時に、本年開催予定でありませぬ横須賀・三浦地区ご担当の方々には、より積極的なご支援ご協力をお願いしたいと存じます。

また本年の事業計画は後程詳しくお示し致しますが、「防災事業所の出動訓練」をはじめ「高圧ガスの運送・移動に係わる講習や教育」そして「神奈川県高圧ガス火薬類保安大会」への参画等も例年通り含まれております。本年も、様々な事業活動を展開し、『高圧ガスに係わる保安の確保』に全力を傾注してまいります。

そして、すべての高圧ガスに携わる事業所から事故災害がなきよう、自主保安の推進と関係機関との連携体制の充実を図って参ります。

最後になりますが、本日総会の円滑な進行と共に、今後とも公共の安全確保に向けた当防災協議会への、益々のご支援ご協力をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

来賓ごあいさつ

神奈川県くらし安全防災局防災部工業保安課
課長 穂積 克宏 様



ただいまご紹介いただきました、神奈川県くらし安全防災局防災部工業保安課長の穂積です。本日は、「神奈川県高圧ガス防災協議会」の通常総会にお招きいただき、ありがとうございます。本日の総会が、このように盛会のうちに開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

皆様方におかれましては、日ごろから、本県の高圧ガスの運送途上での災害防止に、御支援、御協力をいただいておりますことを、この場をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。また、本日、表彰を受けられました皆様方、誠におめでとうございます。日ごろの御努力に改めて敬意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。

さて、昨年 12 月に横須賀市で発見された高圧ガスの不明容器の処理につきましては、防災協議会の皆様にお力添えいただきました。

この不明容器は、腐食が著しく、破裂の危険もある状況の中で、防災事業所の皆様の懸命な作業により、安全に対応できました。改めて現地で対応してくださった方々に敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

また、本県の高圧ガスによる災害防止を担う防災事業所制度は、昨年 10 月から新たな体制でスタートしていただいております。本県においても、今年 4 月から高圧ガス保安法の業務が政令市に移管され、新たな体制となりましたが、今後も皆様方とは、引き続き 保安活動の輪を広げて行きたいと考えておりますので、どうぞご協力お願い申し上げます。

結びになりますが、高圧ガス防災協議会の益々のご発展と、お集まりの皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

〔ご列席いただいたご来賓の方々〕

・ 神奈川県くらし安全防災局防災部工業保安課	課 長	穂積 克宏
・ 神奈川県警察本部生活安全部生活安全課	課長補佐	玉井 祥啓
・ 神奈川県消防長会長代理川崎市消防局	予防部長	高橋 俊勝
・ 横浜市消防局	予防部長	坂本 浩
・ 相模原市消防局	参事兼危険物保安課長	佐藤 文男
・ 一般社団法人神奈川県高圧ガス保安協会	副会長	児玉 孝徳
・ 公益社団法人神奈川県LPガス協会	専務理事	大島 雅弘
・ 一般社団法人神奈川県高圧ガス流通保安協会	事務局長	伊藤 宏一
・ 川崎市消防局予防部危険物課	課長補佐	田淵 一人
・ 横浜市消防局予防部	保安担当課長	細川 直樹

来賓ごあいさつ

神奈川県消防長会会長代理

川崎市消防局予防部長 高橋 俊勝 様



ただいまご紹介を賜りました、川崎市消防局予防部長の高橋でございます。

本来ですと、神奈川県消防長会会長であります、川崎市消防局長の原が参りまして、皆様にご挨拶すべきところでございますが、他の公務により出席できないため、くれぐれも皆様によろしくお伝えください、とのことございました。

本日は会長の原から挨拶を預かってまいりましたので、代読により挨拶に代えさせていただきますと存じます。

本日は、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の第6回通常総会が、このように盛大に開催されましたことに、まずもって、心からお喜び申し上げます。

協議会の皆様方には、平素から各種講習会の開催をはじめ、防災訓練や地域の防災体制の整備など、高圧ガスの保安確保に向け、積極的に取り組まれ、県内24消防本部を代表いたしまして、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

さて、昨年度は、全国的に見ますと、九州北部豪雨や度重なる台風などの自然災害や、北九州市、札幌市で発生した共同住宅での火災、さいたま市で発生した特殊浴場火災などにより、多くの人命や貴重な財産が奪われました。これら大規模かつ複雑多様化する災害等に備えるため、消防車両・資機材の充実や消防署所の整備など、災害対応能力の強化や人命救助体制を確立していく必要があると考えております。

このような状況の中、県民の皆様の安全で安心な暮らしに対する関心はますます高く、消防機関に寄

せられる期待も大変大きなものがございます。

大規模災害等が発生した場合、一消防機関だけでは対処が困難な事案も多数予想されます。今後は、地域の皆様はもとより、国、県、市町村の防災関係機関、さらには、神奈川県高圧ガス防災協議会をはじめ、各種公共団体、民間企業等が一体となり連携を強化することにより、大規模災害に対応できるよう、日頃から協力体制の構築に向け確実に取り組んでいきたいと考えており、県内各消防本部との情報を共有しながら、県民の皆様の期待にしっかりと応えてまいりたいと考えております。

また、地方分権改革により、今年度から、高圧ガス保安法の事務・権限が神奈川県から各政令指定都市に一部移譲され、高圧ガスに係る保安確保につきましても、皆様方とより緊密な連携をとりながら、更なる充実強化を図るため、日頃から協力体制の構築に向け確実に取り組んでまいりたいと考えております。

どうか、皆様におかれましては、引き続き変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。

平成30年5月17日 神奈川県消防長会 会長
原 悟志

本日は、誠におめでとうございます。

平成30年度 事業計画

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

1 高圧ガス防災体制の構築

(1) 防災事業所等の防災体制整備・維持

① 防災体制整備に伴う新規防災事業所体制の維持と定期的な見直し

防災事業所新規体制の構築に向けた作業は、平成26年度のアンケート調査に始まり種々の調査結果を踏まえ、平成29年10月に防災事業所新体制に移行しました。

本年度は、新防災事業所体制が正常に機能するべく、下記内容について作業を進めてまいります。

- ア 防災事業所新体制についての関係者への継続的な周知（連絡会議、講習会、運送員必携等）
- イ 定期的な見直し作業（防災事業所情報、ルール改正等）

② 行政・警察・消防・防災事業所連絡会議

防災協議会から連絡会議へ出席いただいている方々は、防災事業所及び地区委員会委員で構成されています。今春の県、指定都市の一部権限移譲や昨秋の防災事業所の再編に伴い連絡会議への出席者が代わることも考えられますが、当面は、昨年と同様の出席メンバー、開催場所で連絡会議を運用いたします。

(2) 各種高圧ガス運送車両の点検指導

運送車両は、高圧ガスを運搬するうえで警戒標をはじめ、移動時における事故等に備え緊急資材・保護具等の携行が求められます。これらは、自身の認識において十分と判断しても第三者から見た場合は、往々にして欠陥・間違い等があります。

これらの状況是正と遵法を目的に、昨年と同様、車両の点検指導を実施します。

① 高圧ガスばら積み運送車両点検指導

10月1日～31日の間に、昨年と同様の点検実施事業所によって実施します。

② 一般高圧ガスタンクローリー車両点検指導

11月1日～30日の間に実施します。

(3) 高圧ガス事故に係る防災訓練

① 神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

県及び関係保安団体が主催する「平成30年度神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練」は、横須賀三浦地区において実施されます。

防災協議会では訓練に参加し、空気呼吸器装着訓練、高圧ガス運送途上緊急措置訓練を実施します。

☆場所：山崎浄化センター 鎌倉市山崎354-2

☆日時：平成30年10月4日（木）13時～16時

② 防災事業所緊急出動訓練

新防災事業所体制が軌道に乗る間（平成30年度について）、ミニ防災訓練は昨年と同様に、指定する6地区の事業所において実施しますが、近年各事業所事情で実施を見送るケースが増えており、開

催時期や方法について柔軟性を持たせるなど改善を模索します。

一方、自主防災緊急出動訓練については、緊急措置の自主訓練は今までどおり実施していただきますが、公的機関からの出動要請に対しては、対応が可能な体制作り注力し、具体的には、公的機関からの出動要請に対し社内連絡網（休日・夜間体制を含む。）について検証し、再確認をお願いすると共に、緊急措置訓練にも社内連絡網に沿った呼び出し内容を訓練に取り込み、実施していただきたいと思っております。

2 高圧ガスの運送・移動に係る講習及び教育

これまで同様引き続き、「高圧ガス運送基準指導講習」及び「高圧ガス運送指導員資格取得更新講習」を実施します。またKHKの委託事業として「高圧ガス移動監視者講習検定」についても同様に実施します。

- ① 高圧ガス運送基準指導講習会
- ② 高圧ガス運送指導員資格取得更新講習
- ③ 高圧ガス移動監視者講習検定

3 その他事業

県内、県外を問わず関係保安団体との交流を深め連携強化を図ると共に、関係団体の協力の下、事故災害の防止を目的とした的確かつ迅速な情報収集に努めます。

① 神奈川県高圧ガス火薬類保安大会

高圧ガスを製造し又は取り扱う事業所及び従事者に対し、保安意識とその高揚を図る目的から、工業保安強調月間期間中、保安功労者（個人・団体）に対して防災協議会会長表彰を行います。

また、これら式典を執り行う行政、関係団体との一層の協力を努めます。

尚、本年度大会は当協会が5年に1度の幹事団体を務めます。

② 部会県外研修見学会

他県において開催する防災訓練や地域防災協議会との意見交換を行う目的で毎年開催していますが、本年度については、早期に実施要綱等を取り纏め、開催日時、開催場所等を会員の方々に提示し、より多くの会員参加者を募って行きます。

③ 広報

高圧ガスに係る法令、例示基準、運送基準等を始め、他県における情報について収集を図り、会員に対し迅速かつ正確な情報をホームページ、機関誌等に掲載します。

ア 防災協機関誌（「防災協だより」）の発行

イ ホームページ掲載内容の随時更新

④ 事業推進に向けた各種会議の開催や関係団体との会議・打合せ等にも積極的に参加します。

以上

感謝状及び表彰状の贈呈

本年度の総会をもって退任された理事・監事、並びに、運送事業所より推薦された17名の優良運送員の方々への賞状授与式が総会の席上執り行われました。

理事・監事の皆様には、理事会をはじめ各種委員会等への参加をいただき、心よりお礼を申し上げます。また、優良運送員の方々には表彰を機に、一層の高圧ガスの安全な取り扱いと安全運転に心掛け、高圧ガスの保安確保に努めて頂きたいと思っております。



《退任理事・監事（感謝状）》

(理事)		(監事)	
郷原洋一郎	日酸運輸(株)	佐野 正幸	(株)渡 商会
酒井 孝範	ビューテックローリー(株)	新田 義浩	大陽日酸(株)
石川 哲也	(公社) 神奈川県高圧ガス防災協議会	宮内 宏幸	扶桑運輸(株)

《優良運送員（表彰状）》

本多 茂憲	内田商事(株)	有村 猛	扶桑運輸(株)磯子営業所
田中 章	極東運輸(株)	播本 真和	〃 〃
佐藤 浩二	日酸運輸(株)相模原営業所	青木 宏道	丸一輸送興業(株)
小池 一紀	〃 川崎営業所	酒井 進	〃
長谷部幸次	神農流通(株)	高橋 政志	大光陸運(株)川崎営業所
遠藤 優範	〃	山口 敏雄	〃 〃
成田 善一	楠原輸送(株)川崎営業所	濱中 敏宏	(株)三春商会
守屋 郁夫	〃 〃	菅原 俊彦	〃



神奈川県工業保安関係部署異動状況 (平成30年4月1日付)

部署・職位	氏名	部署・職位	氏名
くらし安全防災局長	河原 知徳	くらし安全防災局副局長兼総務室長	花田 忠雄
くらし安全防災局参事監	岡崎 勝司	防災部長	本山 馨
総務室企画調整担当課長	和田 浩一	総務室管理担当課長	青木 淳
危機管理対策課長	圓道 眞理	災害対策課長	佐川 範久
応急対策担当課長	上原 正	消防課長	中村 純也
工業保安課 045-210-3475 Fax045-210-8830 (共通) ※夜間・休日の緊急連絡先 045-210-3456 (所轄地域：横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)			
工業保安課長	穂積 克宏		
火薬電気グループ 045-210-3475			
課長代理・グループリーダー	藤本 祐一	主査(事務)	小島 茂夫
主任主事	中川 大輔	技師	古久澤翔太
非常勤	石原真理子		
コンビナートグループ 045-210-3479			
グループリーダー	工藤 美子	主査(事務)	小澤 俊夫
主査(技術)	太田 浩史	主査(技術)	小島 公平
主査(技術)	丹羽 太一	主査(技術)	出澤 晃一
非常勤	原 秀幸		
高圧ガスグループ 045-210-3484、3489			
グループリーダー	津田 宏久	主査(技術)	加藤 文雄
主査(技術)	保坂 由文	主任主事	安宅倫太郎
技師	菊池麻希子	主任専門員	島田 和彦
県央地域県政総合センター 046-224-1111 Fax 046-225-5218 所管地域：相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村			
所長(事務)	船本 和則	環境部長(技術)	矢板千英子
環境保全課長(技術)	斎藤 邦彦	主査(技術)	堀部 英基
主査(事務)	稲葉 健治	主査(技術)	村田 千裕
臨時技師	平野 和幸		
湘南地域県政総合センター 0463-22-2711 Fax 0463-24-3608 所管地域：平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町			
所長(事務)	丸山 尚子	環境部長(技術)	関 猛彦
環境保全課長(技術)	長沼 均	主査(技術)	三浦 聡子
主任主事	山本絵里砂	主任技師	荻戸 和幸
技師	幸福 卓	非常勤	河口 幹雄
県西地域県政総合センター 0465-32-8000 Fax 0465-32-8111 所管地域：小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町			
所長(事務)	川瀬 良幸	環境部長(技術)	人見 孝
環境保全課長(技術)	中田 康博	副主幹	吾妻 毅
副技師	堀田 健治	技師	豊島 良祐

ミニ防災訓練関係

平成29年度の「ミニ防災訓練」は、残念ながら訓練参加者の確保難等により、実施された会場は2会場となりました。



平成30年度のミニ防災訓練は、時期、方法等再検討の必要がありますが、差し当たり従来と同様の枠組みでミニ防災訓練実施を予定いたします。

地区	事業所名	地区	事業所名
川崎	(株)日本触媒川崎製造所	湘南	地区合同
横浜	三ツ輪産業(株)横浜営業所	県西	(株)小田原ガス
横三	(株)三春商会	県央	伊藤忠工業ガス(株)神奈川支店

2018年度（第46回）神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

訓練開催日時：平成30年10月4日（木）13時～16時

訓練会場：山崎浄化センター（鎌倉市山崎354-2）

訓練概要：高圧ガス燃焼特性紹介、基本措置訓練等

主催：神奈川県、県内5保安団体

関係機関：鎌倉市消防本部、神奈川県警察本部、大船警察署

会員事業所紹介

光和輸送株式会社 横浜事業所

《概況》

- 人員 所長1名、事務員2名、乗務員20名、メカニック1名、夜間運行管理補助者2名
 - 車両台数 21台（一般高圧ガス）
 - 所在地 神奈川県横浜市金沢区幸浦2-13-3
- 当社は(株)ニヤクコーポレーショングループの関係会社として、産業ガスの輸送を任されており、取り扱い製品上、突発的なオーダーや、毎年の工場定修時期には昼夜をとわぬ納入作業を求められますが、従業員一致協力し、日々乗り越えています。
- 製品の特殊性から納入に際しては諸条件も多々あり、乗務員との意思疎通を決して怠らないことで、安全第一の輸送を心掛けています。



事業所については、横浜事業所（横浜市金沢区）と大阪事業所（大阪府岸和田市）の2カ所にあります。

横浜事業所のある横浜市金沢区は、横浜市の最南部に位置し、関東の最南端のため降雪が少なく、気候温暖な地区で近くには、港横浜・中華街、歴史を伝える金沢文庫・鎌倉、足を伸ばせば湘南海岸など観光スポットも多いところです。

事業所のある臨海部は多くの企業・工場が集まり臨海産業地区を形成しております。

そんな環境のもと、日々産業ガスの配送をこなしております。

《業務内容について》

荷主は昭和電工ガスプロダクツ(株)で超低温液化ガス（液化酸素・液化窒素・液化アルゴン）をタンクローリーで配送しています。

配送エリアは、関東・甲信越はもとより、北は宮城県、西に名古屋、その他北陸方面へと走ります。

液化窒素は-195.8℃と超低温の液化ガスでもあり、CE充填等には十分な注意を払い作業に従事しています。

《職場について》

特殊な製品を取扱っていますが、長年のノウハウ蓄積により、整備スタッフの知識・能力は高く、高圧ガス容器再検査やローリーポンプの開放点検・補修、バルブ交換、部品作成等、自前でこなし、時には荷主の要請により、受入設備の補修にも対応します。

東京液化酸素株式会社

弊社は、1969年（昭和44年）に、世界で初めて液化天然ガス（LNG）の冷熱エネルギーを利用した液化酸素、液化窒素および液化アルゴンの製造会社として、横浜市根岸臨界地区の石油コンビナート地域に設立されました。

製品である液化酸素、液化窒素および液化アルゴンは、空気を液化分離装置で深冷し、各成分の沸点の差を利用して液化分離することで得ることができますが、弊社の特徴でありますLNGの冷熱エネルギーを利用して深冷することにより、膨張タービンのみによる機械式の空気液化分離装置に比べ、電力の消費量が低減され、近年の社会的要請である省資源・省エネルギー・環境負荷低減に大きく貢献しています。

一号機は、当時の最新技術によって設計されましたが、その後の販売量、製品構成、品質、コストなどのニーズへの対応として新たなプラントの建設を行い、1992年（平成4年）に二号機が稼働し、現在に至っています。

二号機は、LNGの冷熱エネルギー利用量の大幅な増加が図られ、数々の省エネルギー技術の導入および最新鋭の制御技術により、生産効率の更なる向上と高品質製品の安定的な生産が可能となり、同時に運転面、保安・環境面にも十分な配慮がなされたプラントとなっています。

従業員20名の少人数による日々の安全管理、生産管理や設備管理業務、それらに加えプラントの24時間連続操業での運転管理業務を維持していくために、リスクアセスメントやヒヤリハット活動等の安全活動を有効的かつ積極的に行いつつ従業員全員が安全に対する感度を上げ、安全・安定運転の継続に努めています。

各製品はタンクローリーに充填し出荷しています。充填作業等の出荷業務はタンクローリー乗務員の方が行っていますので、出荷業務や場内走行の安全確保のために、出荷設備等の保全管理や安

全管理を徹底しており、乗務員の方のご意見も参考にしながら設備面や運用面の改善も推進しています。

保安面では、弊社は石油コンビナート災害防止法の第一種事業所に該当するため、法規上の消火用給水施設や普通消防車等の防災資機材を有しており、防災活動が迅速かつ適切に行えるよう訓練を重ねています。また災害や事故を未然に防止するための緊急処置訓練などの活動にも積極的に取り組んでいます。

以上のように安全活動や保安活動の推進・強化と、従業員の安全に対する意識向上に日々取り組み、昨年、安全無災害記録40年を達成し、現在も継続しております。

弊社は、今後とも高品質の製品を安定的に供給するとともに、社会的要請への取り組みを更に推進し、地域の発展に努めてまいりますので、神奈川県高圧ガス防災協議会、会員の皆様のご指導、ご支援のほどよろしくお願い致します。



会員事業所紹介

公益社団法人 神奈川県LPガス協会

当協会は、昭和29年5月15日に神奈川県プロパン瓦斯事業協議会として会員22社で設立、昭和40年3月19日に県の認可を受け社団法人神奈川県プロパンガス協会となりました。平成24年4月1日には、LPガス業界では初となる公益認定を受け、公益社団法人神奈川県LPガス協会と改称し、現在に至っています。

正会員数750会員、特別会員26社で構成され、神奈川県内113万世帯にLPガスを供給し、全国第3位のLPガス大国となっています。

当協会の目的は、LPガスによる災害の防止、取引の適正化による消費者利益の保護、LPガスの普及及び啓発並びにこれらの基礎となる人材の資質の向上を図ると同時に県内LPガス業界の健全な発展を図ることにより、広く社会公共の福祉の増進に寄与するものであります。



当協会の事業は、公益目的事業（①LPガスに関する保安推進事業、②地震等大規模な災害に対する事前対策、緊急対策及び復旧対策事業、③液化石油ガスの保安の並びに販売等の資格に関する講習会及び国家試験の実施事業、④エネルギー提案事業、⑤消費者広報等事業）、共益目的事業（①販売活動事業、②競合エネルギー対策事業、③広報等、情報提供事業）、収益目的事業（①不動産貸付事業、②図書販売事業、③帳票類販売事業、④保険事務受託事業）の3つに分かれ、事業活動の円滑な推進に取り組んでいます。

公益目的事業のLPガスに関する保安推進事業では、「LPガス119事業」としてLPガスによる事故等の防止を目的に、24時間365日対応として、各消防署等や第三者からの通報により火災等の現場へ当該地域の出勤事業所が出勤し、二次災害防止、安全確保等を行う活動を実施しています。

協会の事業ではありませんが、当協会では、昨今の孤立死・孤独死等を未然に防ぐことを目的に、平成24年5月17日に神奈川県知事と「地域見守り活動に関する協定書」をはじめて締結しました。神奈川県・市町村と連携し、当協会の会員が日常のLPガス販売活動の中で、孤立死等の恐れのある世帯を発見した際、当該世帯に対し行政機関等から適切な支援につなげる活動に取り組んでいます。

消費者広報等事業としては、毎年8月下旬に開催される横浜防災フェアに参加し、LPガスの知識習得を目的としたLPガス検定の実施やLPガス自動車の展示、チラシ、ガラストップコンロ型キッチンペーパーを配布し、災害時におけるLPガスの優位性を広く周知しています。

第一三共ケミカルファーマ株式会社 小田原工場

弊社、第一三共ケミカルファーマは、第一三共グループ唯一の医薬品原薬製造機能会社として、サプライチェーンユニット内における第一三共の主力製品および新規上市品を中心とした医薬品の原薬・中間体の製造を担っており、日本国内のみならず世界中の多様な医療ニーズに対応しています。

この重要な責務を果たすため、第一三共ケミカルファーマ株式会社小田原事業所は、三共化成工業(株)、三共有機合成(株)の2社を母体として2008年4月より操業開始し2013年に第一三共プロファーマ株式会社より分割した小田原事業所を統合した事業所です。

また、当事業所では、医療用医薬品(病院などの医療機関向けの医薬品)の原薬・中間体である経口抗凝固剤(エドキシaban)、インフルエンザ治療薬(イナビル)、高血圧症治療剤(オルメサルタン)、消炎鎮痛剤等(ロキソニン)の製造の一躍を担っています。小田原事業所で製造した原薬は国内外へ出荷され、現地の製剤製造拠点で製剤化されて医薬品として提供されることにより、世界中の患者さんの医療ニーズに貢献しています。そのため、各国の法規制に対応できる高レベルの品質保証体制の維持・向上とグローバルレベルのコスト競争力の創出が求められることとなります。我々はこの要求に確実に応えるとともに、安全かつ安定的に生産を実現するための生産体制の維持・向上に日々努めています。

又、治験原薬の製造の一躍も担っております。新薬創出には、基礎研究から承認申請まで長い年月が必要です。製法検討とパイロットプラント製造を繰り返しながら、品質、コスト、安全、環境等に配慮しつつ商用生産製法を確立していきます。

当事業所は、医薬品を確実かつ安定的に供給する責務があり、

即ち「医薬品の欠品は許されない」ということです。原薬製造事業所として、原薬を国内外に安定供給するという重要な役割を担っており安全管理体制の維持・向上のため、変化を続ける多様な社会からの要請に積極的に応え、企業価値の向上を図り、企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を果たしていくためには、各法令およびISO14001等のルールなどを遵守し、生命関連企業としてふさわしい高い倫理観と社会的良識をもってCSR活動に取り組んでいます。

今後とも会員各社様、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の皆様方にはご指導ご鞭撻を今後とも宜しくお願い申し上げます。



協議会からの “お知らせ” と “お願い”

関東高圧ガス保安団体連合会保安大会の開催（浜松町駅）

開催日時：平成30年7月27日（金）13:30（12:30より受付開始）

開催場所：ホテルアジュール竹芝

記念公演：「ノンテクニカルスキル教育で事故防止」

AGC旭硝子 千葉工場環境安全部保安管理グループ

主席 南川 忠男 氏

平成30年度高圧ガス移動監視者講習会開催予定

〔指定する高圧ガス（可燃性、酸素、毒性、液化石油、特殊高圧の各ガス）を一定数量以上移動（輸送）するには『高圧ガス移動監視者』の資格が必要となります。〕

講習・検定開催日程	講習・検定会場	定員
〔講習〕 平成30年11月19日(月)～20日(火) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 平成30年11月30日(金) 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 神奈川県川崎市渡田新町3-2-8 (「京急八丁畷」駅下車 徒歩15分)	80名
〔講習〕 平成31年1月下旬を予定 (2日間講習) 〔検定〕 平成31年2月8日(金)	平成30年9月1日以降のホームページで ご確認ください。	80名

※申込用紙は、ホームページに掲載してある申込用紙をプリントアウトしてもご利用できます。(9月上旬掲載予定)

【新入社員紹介】

おなまえ：大川 ^{おおかわ} 由紀子 ^{ゆきこ} 入社年月日 平成30年5月1日
“よろしくお願ひいたします”

防災協議会事務局の「夏季休暇」について

平成30年度の夏季における事務所の休業日を下記のとおりといたします。ご不自由をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

平成30年8月13日(月)、14日(火)、15日(水)の3日間

事務局までお知らせ・ご連絡をお願いします。

社名、住所、組織変更及び人事異動による変更等がありましたら、お手数ですが所定の様式に必要事項をご記入のうえ、防災協議会事務局あてお送りください。

・社名変更 ・組織変更 ・住所変更 ・電話/FAX番号変更 ・協議会ご担当者変更等

【事務局：電話045-212-1454 FAX 045-212-1455】

E-mail:jimu@kanagawa-bousai-hpg.or.jp

※「所定の様式」は、ホームページからもダウンロードできます。

訂正とお詫び

前号(125号)機関誌の表記に誤りがありました。ここに訂正し、お詫び致します。

(3頁) 優良防災事業所

【誤】 太陽日酸株式会社 川崎水江事業所 → 【正】 大陽日酸株式会社 川崎水江事業所

(7頁) 三ツ輪運輸(株)横浜営業所 紹介記事の上から6行目

【誤】 平成15年5月 → 【正】 昭和15年5月